



南房総の風し

「学校から発信する家庭教育支援プログラム」をご活用ください！

「学級だより」の内容や「学級懇談会」などの進め方で困ったり悩んだりしたことはありませんか？

「学校から発信する家庭教育支援プログラム（CD版）」には、「学級だより」作成や「学級懇談会」などを企画・運営する時の参考になるプログラムがたくさん入っています。是非ご活用ください。

南房総教育事務所でも計画訪問の際に各学校の活用状況をお聞きするとともに、さらなる有効活用についてお願いをしています。



「家庭教育支援資料」は「学級だより」の題材としてそのまま使うこともできます。
「指導のためのプログラム」は「学級懇談会」等を進めるための指導案等が入っています。
「学級だより」作成や「学級懇談会」でも準備に時間をかけずに、すぐ使えるのがうれしいですね！



【学校から発信する家庭教育支援プログラム（CD版）】

	家庭教育支援資料	指導のためのプログラム
小学校編	<ul style="list-style-type: none"> 子どもとの会話や過ごし方 いじめ 非行・問題行動 ゲーム・テレビ等に費やす時間と影響 携帯電話の利用とマナー 子どもの健康と食育 友達との関係づくり 家庭学習について・通知表の見方 安全について 小学校生活をもっと楽しくするために！ 薬物乱用防止※ 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもとの会話について考えましょう ゲームやテレビ等に費やす時間と影響（活用例その1） ゲームやテレビ等に費やす時間と影響（活用例その2） 子どもの食生活を考えましょう 家庭学習について考えましょう 小学校就学について考えましょう
中学校編	<ul style="list-style-type: none"> 親子のコミュニケーション 安全な生活（交通安全、不審者等） 携帯電話を中心としたメディアの活用（裏面資料参照） 心の成長と家族 友人関係 言葉遣い 食生活 部活動 思春期の心と身体、異性と性 中学校入学生を持つ保護者の皆様へ 薬物乱用防止 スマートフォンの使用※ 	<ul style="list-style-type: none"> 親子のコミュニケーション 中学校の学習と家庭学習の重要性 安全な生活（交通安全、不審者等） 携帯電話を中心としたメディアの活用（裏面資料参照） 家族の一員として自覚を持たせるには 家族について考えましょう 部活動 思春期の心と身体、異性と性 思春期の子どもの悩み、親はどうすれば

よし！次の学級懇談会はこの資料を使おう！



※家庭教育支援資料「薬物乱用防止」（小学校版）及び「スマートフォンの使用」（中学校版）は千葉県教育委員会HPよりダウンロードしてお使いください。（CD版には含まれていません。）

< 中学校 >

4. 携帯電話を中心としたメディアの活用

トラブルへの入り口は携帯電話を持たせることではじまります
 社会に急速に普及している携帯電話は、それ自体たいへん利便性の高い道具です。しかし、その使用には、大きな問題も存在していることを子どもと一緒に考えてみましょう。

本当に必要な
のか

どんなトラブルが
あるのか

使用する上で
の「ルール」は
何か

携帯電話を子どもに持たせる必要が本当にあるのでしょうか？

- ・子どもの理屈には通じませんか？
- ・子どもに携帯電話を使用させる目的は何でしょうか？
- ・持たせることで、生活の「安全」が本当に確保されるのでしょうか？
- ・携帯電話が、大事な人間形成期に悪い影響を与えていないでしょうか？

携帯電話を与えられるのは保護者だけです。責任を持ちましょう。

どんなトラブルが起きていますのでしょうか？
トラブルは家庭の責任です。

< 学校で >

- ①メールのやりとりをしたりするなど、授業に集中できないこと。
- ②隠して持って来て友達にみせ、興味を誘発させることがあること。
- ③紛失や盗難で個人情報流出すること。

登校時に顔に預ける等子どもが家に置いて登校したことを確認してください

< 交友関係で >

- ①携帯電話を所有していることで、いつでも呼び出しが可能になるため、夜遊びや外泊が増える傾向にあり、これが家出に発展したりすること。
- ②メールや掲示板への書き込みによる誹謗中傷やいじめやトラブルにつながる可能性があること。
- ③有害情報を入力したり、利用したりすること。

< 障りやすい風 >

- ①携帯電話から「出会い系サイト」に接続したために、ストーカー行為、嫌がらせ、恐喝、誘拐、殺人などのトラブルに巻き込まれること。
- ②接続サイトによっては、不当な通信料の請求を受けるケースが多発していること。

< 個人情報保護についての問題 >

- ①携帯電話を利用して勝手に他人の写真をメールで送付したり、掲示板に無断で実名を書き込んだりする問題があること。
- ②個人情報やむやみに他人に教えてしまう問題があること。
- ③安易なサイトへのアクセスで、自分の情報が漏れ、事件に発展する危険性があること。

我が家のルールをつくりましょう！
 親子で十分話し合い、お互いに責任を持ち、「ルール」を守り、携帯電話を使うことで取り返しのつかないトラブルに巻き込まれないようにしましょう。

学校の規則をしっかりと確認しましょう

< 中学校 >

携帯電話を中心としたメディアの活用 指導のためのプログラム

< 展開例 >

1. 指導の機会と対象学年
「学級懇談会または学年懇談会」適宜、全学年の保護者
2. 対象学年等
全学年の保護者
3. ねらい
中学生活における携帯電話を中心としたメディアの活用について必要性と危険性を理解する。

(1) 題材 携帯電話を中心としたメディアの活用
 (2) 展開

時間	指導の流れ	指導上の留意点
5	<p>1 導入</p> <p>(1) 子どもに携帯電話を持たせている家庭はどのくらいいるか挙手してもらおう。</p> <p>(2) 現状の感想を聞こう。 ・多いと思うか、少ないと思うか など</p> <p>(3) 各地区の平均を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0; text-align: center;"> 携帯電話などメディアの必要性と危険性について考える </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○挙手により人数を把握する。 ○各地区調査実態があれば準備しておく。 ○調査実態を知らせる。 ※参考【H20市原市携帯所持率調査】 中1 (55%) 中2 (65%) 中3 (75%)
20 ～ 30	<p>2 展開</p> <p>(1) 携帯電話の危険性、また利便性、そして持つことは必要だろうか、と言うことについて考える。</p> <p>○持たせている家庭と持たせていない家庭にそれぞれ、メリット、デメリットについて述べてもらう。</p> <p>(メリット)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・便利である。 ・安全が確認できる。 <p>(デメリット)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学生にはまだ早い。 ・お金がかかる。 ・いたずらや誘いに対して不安である。 ・親に見えないところで被害を受けないか不安である。 <p>(2) もうすでに持たせている家庭、強くせがまれている家庭が多いと思うが、資料を使って携帯電話の</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○携帯電話のメリットやデメリットを話し合うことで、「中学生に必要なのか」という点について考えてもらう機会とする。 ○各学校の実情に合わせる



CD版には学級だよりに使える資料もたくさんあるんだよ。

ワード版で学級の実態に合わせて自由に加工できるので、便利ね。

CD版資料集の一部を紹介します
 (学校のサーバーにコピーOK! データを印刷して配布OK!)



携帯電話トラブル注意！！

(「コミュニケーションズ 生徒指導だより No.3」 市原市立双葉中学校より)

現在の青少年において、トラブルや犯罪のひとつの要因となっている携帯電話。本来の目的や本人のニーズをしっかりと捉えて使用すれば、これほど便利なものはない。しかし、その反面大きなトラブルの近道になってしまっているのも事実である。

そこで、携帯電話の注意や子どもへ危惧されていることに触れたいと思います。

1. 携帯電話により、子どもが違法・有害情報にさらされていること

- ・携帯電話のインターネット機能により、様々な情報が、家庭、学校、地域を介さず、子ども達に直接伝わることとなった。
・大人は、子ども達がどんな情報にさらされているのかわかっていない。
- ・子ども達の方が携帯電話の機能に詳しく、親が使用実態を把握し、適切な指導が出来ていない。
- ・フィルタリングソフトを知らない保護者が約6割、利用する意向を持っているものの利用方法が分からない者が約4割。
- ・フィルタリングにより遮断できない曖昧な情報が多いため、この機能に頼らず、見せないよう指導する必要がある。